

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束等適正化委員会で話し合ったことを、スタッフ会議で報告し、その中で意見交換をし、課題に取り組み、身体拘束をしないケアを目標とする。	・市町村、家族の代表、職員を交え、身体拘束等適正化委員会を3ヶ月に1回開催、内部研修も3ヶ月に1回行なっておりスピーチロックや不適切ケアについて話し合い、委員会の意見を取り入れ、身体拘束をしないケアをするよう取り組んでいる。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	開かれたホームを目指すため同じ地域に住み、入居者・職員が地域の方々に気軽な挨拶、会話などで、その中から助け合えるつきあいを目標とする。	・平成20年から12年間夏祭りに参加、唐揚げの店を出し、地域の人達との交流を図る。 ・平成27年から始めた蕎麦体験交流、区・寿会・子供会と100人近くの人が参加、毎年増えているが、地域とのつきあいを広めるため、声かけ、啓発に努める。 ・小学校の学習発表会や卒業式に出席、中学校の職場体験など継続していく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を活かした取り組み	2ヶ月に1回の会議、ホームの活動及び行事等の報告。地域の方々に「高齢者であり、認知症があるけれど人なんだ」として理解をして頂き小さな出来事から報告をし、納得理解を目標とする。	・推進会議には、殆どの入居者が参加できるように努め、顔なじみの関係の大切さ、どのような一日を送ってあるのかを知ってもらい、地域との協力体制の構築。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。